

あしや 市議会 だより

2024年2月 No.127

何かのプロフェッショナルに。

山手中学校
野球部

部員総数21名で、部員の半分以上が未経験から野球を始めたチームです。それでも、このチームで勝ちたい!役に立ちたい!これなら誰にも負けやしない!との思いで自分にしか持ちえない「武器」を磨いています。昨年は春の県大会3位、夏の総体阪神地区3位という成績を取ることができました。目標は先輩たちを超える夏の総体阪神地区優勝です!

●注目の議案をPick up ●一般質問 ●行政視察の報告

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。

ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

令和5年
12月定例会
12月1日～
12月22日
(22日間)

12月定例会では全部で23件(市長提出議案：21件、陳情：2件)の議案等が審議されました。今号では、この中から3つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第73号議案)

乳幼児等・子ども医療費助成制度を拡充

可決
(全員一致)

【内容】
令和6年7月から、こどもの医療費の助成対象年齢を高校生相当の者まで引き上げるとともに、所得制限を廃止し、受給資格を全ての幼児等およびこどもに拡充して一部負担金の全部または一部を助成するもの。

※委員会において、委員から「1歳から高校生相当の者までの入院以外の療養に関する一部負担金を無料にするための修正案」が提出されましたが、賛成少数で否決となっています。

委員会での質疑

議員 高校生相当の者を新たに助成対象に加えた理由は？

市 市長の政策目標として、「圧倒的に子育てしやすい若屋の実現」があったこと、また、県内でも今年度中には約9割の自治体が高校生相当までの者を対象に何らかの助成を実施するという背景があったからである。

議員 外来診療などで1日800円の窓口負担を残した理由は？

市 医療費助成を拡充する一方で、「持続可能な制度にしたい」という思いもあったからである。

議員 窓口負担をなくすことになると過剰受診が起り得るのではないかと懸念している。

修正案提出者 必要な医療はしっかりと担保されなければならない。また、早期に治療を進めることが医療を逼迫させないことにつながるのではないかと懸念している。

市 平成27年7月から所得基準額未滿の方を対象に一部負担金を無料にしているが、その際、助成額が2割程度増加しており、仮に一部負担金を無料にするのであれば、かなりの影響が生じる恐れがある。

議員 過剰受診により市の想定を大きく上回るような財政支出となった場合はどのように対応するのか。

市 社会情勢の変化や災害などの要因で見直しをしなければならぬことも考えられるため、その時々状況を見て判断する。

【市に対する意見・要望など】

●本制度にかかる市の財政負担は大きいため、過剰受診を控えていただくような周知啓発をしっかりと進めてほしい。

助成対象者および助成後の一部負担金

	0歳	1歳～中学校3年生	高校生相当の者
所得基準額(※1)以上	入院・入院以外 負担なし(全額助成)	入院 負担なし(全額助成)	
所得基準額未滿	入院・入院以外 負担なし(全額助成)		入院以外 800円(※2)

※1 保護者等のいずれもの「市町村民税所得割額」が23万5千円未滿
※2 保険医療機関等ごとに1日につき800円を限度に、月2回まで保険医療機関等に支払う。3回目以降の受診等に係る一部負担金はなし。



Pick up2

(第86号議案)

給付金支給事業・キャッシュレス決済ポイント還元事業等に係る補正予算

可決
(全員一致)

委員会での質疑

電力・ガス・食料品等価格高騰 重点支援給付金支給事業

【内容】
エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯)に対し、令和5年7月以降に実施した1世帯当たり3万円の給付に追加して、7万円を給付するもの。

議員 前回の3万円の給付金と対象者の要件は同じなのか。

市 今回の経済対策では、「住民税が課税されている者の扶養親族のみからなる世帯」や「家計急変世帯」については給付対象外になっている。なお、家計急変世帯については、今後、国において別の支給メニューが設けられる予定である。

【市に対する意見・要望など】
●他市では、現段階で予定されている本給付金の支給に関する情報をホームページに掲載しているため、本市においても検討してほしい。

キャッシュレス決済ポイント還元事業

【内容】
物価高騰等に直面する生活者を支援することにも、市内経済の活性化やキャッシュレス決済の普及促進を図る観点から、市内の店舗大手チェーン店を除く、でキャッシュレス決済を行った者に対し、一定のポイントを付与するもの。

※詳細については市ホームページ(下記QRコード)を参照をご覧ください。



議員 クレジットカードによる決済には対応していないのか。

市 店舗側でクレジットカードの読み取り機器を用意してもらう必要があることから、対応は難しい。

議員 QRコード決済の運営事業者を複数選定することはできないのか。

市 複数選定することになると、ポイント還元率や事務経費に影響が生じることから基本的に単社で考えている。

議員 ポイント還元が予算額を上回る状況になった場合の対応は？

市 ある程度リスクを見込んだ上で予算計上しているが、仮に予算を超過する場合には予備費で対応することになる。

議員 スマートフォンに不慣れな方に対し、操作方法やキャッシュレス決済の使い方などについて、市は気軽に相談に応じてもらえるのか。

市 市が直接実施する事業であるため、市民説明会なども検討している。

議員 本事業の経済効果は？

市 令和4年度の実施時には、前月比16.4%の決済額で、店舗当たり37万2千円の増加になったとの決済事業者からの報告があった。今回についても、前月比200%、店舗当たり約40万円の増加を見込んでいる。

議員 今回のポイント還元事業は本当に困っている家庭への支援になっているのか。

市 本事業は、全ての方が使える事業となっており、ぜひたくさん品だけでなく、食料品や生活必需品にも利用できるため、生活者支援の側面もある。

【市に対する意見・要望など】

●キャッシュレス決済の種類を複数用意している市もあるが、今後、本市でもそのように対応していかないと、キャッシュレス決済の普及・促進にはつながらないのではないか。



一般質問

12月11日から13日までの3日間に19人の議員が、計55項目の一般質問を行いました。内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。



詳しくはこちらから

Pick up3

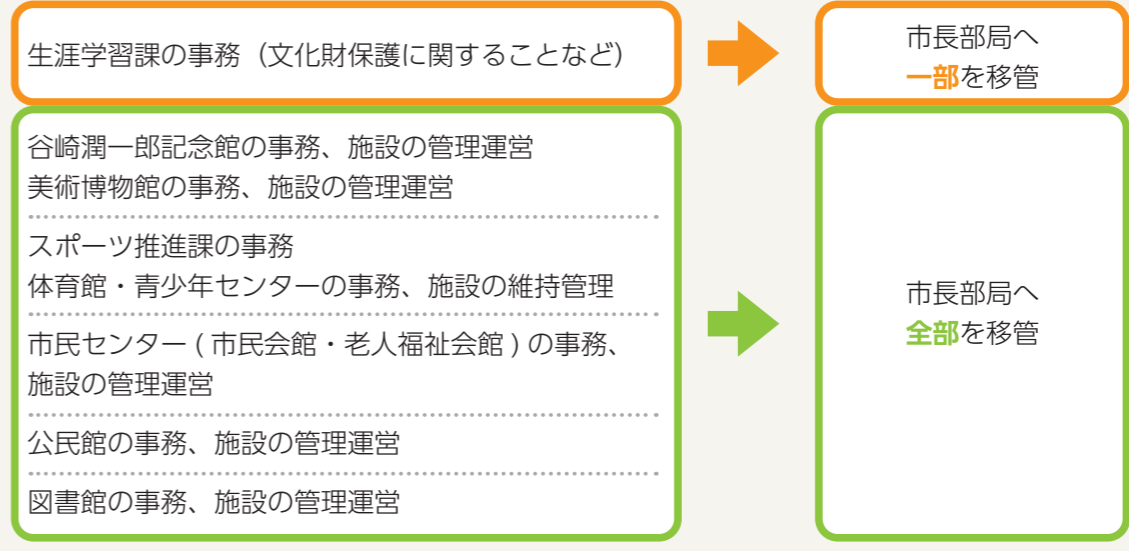
(第69号・第70号議案)
社会教育機関の事務を市長部局へ移管

内容
法の規定に基づき、これまで教育委員会が管理・執行をしていたスポーツ、文化、生涯学習等に関する事務の権限を市長に移すもの

委員会での質疑

- 議員** 市長部局に社会教育機関の事務の権限を移管する理由やメリットは?
- 市** 人口減少という局面を迎え、社会教育の施設や資産を有効に活用していく必要があり、移管により、市長部局が保有するさまざまな施策と、よりスムーズに連携・共同して一体的に施策を実施することができる。
- 議員** 教育委員会に事務を残したままでは連携は図れないのか。
- 市** 社会教育に関する資源を活用した一体的な取り組みを、より効果的、確実に実施するために適した体制を整えるためのものである。
- 議員** 政治利用された戦前の教訓から、政治家たる市長から独立した教育委員会が実施してきた社会教育の中立性は担保できるのか。
- 教委** 社会教育の企画・推進・調整に関することは、引き続き、教育委員会が所掌することになっており、教育委員会の責任、力量が問われるのはこの部分であると考えている。

移管に係る事務



可決
(賛成多数)

※全ての議案の内容と審議結果は11ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

- 議員** 社会教育の適切な実施の確保に関する担保措置を明文化し、文書に残しておくことができるのか。
- 市** 総合教育会議や議案審査の際の発言が議事録に残ることも担保の一つである。今後、具体的にどのような明文化して残すのかについては考えていく。
- 議員** これまでの市長部局との連携の中で、うまくいかなかったものがあるのか。
- 教委** 都市の魅力発信ということで、図書館や美術館を使ったイベントを実施したが、その際には市の企画部と教育委員会が連携しながら取り組んだ。
- 市** まちづくりの観点からイベントを行うことになると、教育委員会からの発信には限界があるため、これからはもっと能動的、主体的にまちづくりを進めていくために社会教育施設を活用する時代になっている。
- 議員** 社会教育を市長部局に移管し、環境を整備することが本当に市民サービス向上の契機となるのか。
- 市** 市民の財産をしっかりと活用していくための組織を考えた際に、市長部局に移管することが一番いいと考えている。



長谷基弘 会派に属さない議員

議員 市民が芦屋らしい場所として大切にしているのは芦屋川であるが、川沿いの歩道には一貫性がなく、一部では未整備で歩行すらできず放置されている。少しの工夫で車椅子やベビーカーなどの利用も可能なため、河畔のバリアフリー化や芦屋公園の整備を求める。



市 未舗装部分や行き止まりがあることなどの課題は認識している。今後関係機関と協議を重ね、改善に向けて努めていく。

議員 芦屋川のバリアフリー化に関する要望は、河川管理者である県に伝えておく。

市 芦屋公園に限らず、公共施設の整備や改修の際には、障がいのある人を含め利用者の視点を考慮し、安全・安心なまちづくりを引き続き取り組む。



芦屋川沿いの歩道

コバノミツバツジの普及を

議員 市花コバノミツバツジの普及を求め、市内公園で新たに根付かせることは難しい。マンホール、市の封筒やご当地ナンバープレートなどのデザインに用いたり、SNSで発信することにより引き続き市花として身近に感じてもらえるよう取り組む。

◆その他の質問

芦屋市の表彰規定について

寺前尊文 至誠会

議員 導入直後から小さいサイズの欠品に苦情が相次いでいる。供給不足の原因は何か。需要予測が甘かったのではないのか。



市 全市的な周知に15リットルサイズを用いたことで、その使い勝手の良さから、市内全域で想定より多く使われたことから品薄状態になっており、御迷惑をおかけしている。

議員 既に製造業者と調整を重ね、増産体制で供給量増加を確認するなど、早期の解消に向けて取り組みを進めている。

議員 製造国との貿易環境、原油高など外的要因による供給不足への対応方針は?

市 製造拠点がインドネシアと中国のほか、アジア各国に複数あることを確認しており、外的要因によるリスクにも備えられていると考えている。

店舗レジでの単品販売促進を

議員 パーコードを印刷したレジ袋兼用のごみ袋導入の検討を求める。店舗でレジ袋代わりに使用できるよう、1枚単位の販売協力を店舗に働きかけたい。

市 指定ごみ袋をレジ袋として利用することは、現在でも各店舗の判断で可能だが、制度導入前に行った製造業者への聞き取りや審議会での議論では、店舗側の負担などもあることから実現は難しいと聞いている。



企業の自主協力により、ごみ袋の単品販売が進みつつある(西宮市内のホームセンターにて)

他の自治体の実施状況を注視していく。

川上あさえ あしや政風会

議員 双子などの妊娠の際には妊婦健診の回数が増えるが、助成券の枚数が少ないので改善できないか。



市 多胎妊娠・出産において、妊婦健康診査費助成事業の追加助成等の支援はしていないが、今後も他市の状況を踏まえて研究していく。

議員 訪問型の産後ケア事業はできないのか。

市 現在には入院・宿泊と通所という形だが、新年度に向けて訪問型の産後ケア事業についても、追加で事業の中に組み入れる準備をしている。



公共施設における女性専用スペースについて

議員 LGBT理解増進法が成立したが、女性専用トイレをなくす考えはないことを確認したい。あしや温泉での対応方針は?

市 市庁舎のトイレは男女別となっているものを廃止する考えはない。公園のトイレも基本的には同じ考えであるが、スペースの関係で検討が必要な場合は、地元の方と相談しながら決めていきたい。

議員 あしや温泉では障がい者などの付添いが必要な方などのために個室の浴室を1つ設置しているの、相談等があった場合には、柔軟に対応していきたい。

◆その他の質問

教育大綱にある「STEAM教育」について
ヨドコウ迎賓館の魅力向上について

今から備える暑さ対策

議員 熱中症搬送者数は年々増加している。気候変動適応法の改正により、熱中症予防を目的とした公共施設内への暑熱避難場所（クーリングシェルター）の設置と活用が求められるが、市の対応を問う。



市 クーリングシェルターとして公共施設を活用する熱中症対策は、環境福祉健康、学校園などあらゆる分野に関連するため、組織横断的な体制の下で実施する必要があります。現在、国の動向を注視しつつ、庁内で情報の共有を図っている。

議員 公園にドライミストの設置を求めるが、市の見解を問う。

市 ドライミストは、稼働中の点検等、有人での管理を要する設備であり、維持管理等の課題があるため、管理が適切に行われる総合公園において、スポーツ施設利用者を対象に、来年度、設置する予定である。

議員 「芦屋の水」のPRも兼ねて、マイボトルに給水できる給水スポットの設置は可能か。

◆その他の質問

・睡眠教育について

ユニバーサルマナーでつながるあしやおたすけ部の取り組みについて



「誰かを助けたい」という気持ちをカタチにしたあしやおたすけ部

議員 あしやおたすけ部発足の動機は何か。今後、も広範囲での啓発、周知に至る積極的な活動を求める。

児童・生徒の体力低下の改善について

議員 小中学校の一週間の体育の授業時間数は？

教委 学習指導要領に定められている標準授業時間に基つき、小中学校ともに、おおむね週3時間を設定している。

議員 体力低下への改善策は何かあるのか。また、運動時間を拡大する見込みはあるのか。

教委 改善策は、運動が苦手な児童生徒も楽しいと思えるよう、授業を工夫し、放課後等の運動につながるよう努めている。今以上に運動時間を確保することは困難だが、児童生徒が自ら体を動かす楽しさを感じられるよう、引き続き取り組んでいく。

ミュージックスタジオの開放

議員 中高生の居場所としてのスタジオは、特に平日の空き時間が多い。有効利用のため一般の方にも開放すべきではないか。



市 現在は、子ども・若者の居場所というところに重点を置いているため、大人だけの利用は考えていない。しかし、空き時間の活用について問題意識は持っているため、状況を説明した上で、子どもたちの意見を集約して決めていきたいと考えている。

就学前の発達支援について

議員 幼稚園や保育所の施設における園庭や遊具等の設備は、公立と私立の間で格差がある。発育・発達観点から、支援が必要ではないのか。格差がないという認識ならば、その根拠は？

市 施設の設備に違いがあることは認識している。運動能力や資質の取得に向けての活動の確保については工夫してもらい、格差が生じないように取り組んでもらう。市の保育士が定期的に私立の園の現地を訪問して、保育状況等を確認している中で、その中で運動についても助言すること、質を担保していけるように取り組んでいきたい。

特別障害者手当について



議員 常時特別な介護の負担軽減の一助となる「特別障害者手当」の対象や支給要件は？市民への周知の徹底を求める。

市 特別障害者手当は、精神または身体に著しく重度の障がいがあり、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の方が対象となり、支給については所得制限などの要件がある。周知は、ホームページに制度の概要を掲載しており、障がい者手帳の交付時に、障がい福祉のしおりを基に説明を行っている。今後は、高齢者福祉と介護保険のハンドブックにも制度を掲載し、ケアマネジャー向けの全体説明会でも周知していきたい。

打出公園のトイレについて

議員 令和6年3月末にリニューアル工事が完成予定の打出公園は、トイレが設置されず、打出教育文化センターのトイレを使用することになる。整備は一体的に行うが、施設は一体でないため公園内にトイレの設置を求める。

市 トイレについては、利便性を損なわず、公園の限られた空間を有効的に利用したいとの地域の声があったことから、打出教育文化センターと一体的に整備し、センターのトイレを利用してもらうよう地域の皆さまと決めた内容で整備している。

◆その他の質問

・社会教育機関の市長部局への移管について
・芦屋市の保育士確保について

指定ごみ袋について

議員 小容量ごみ袋の供給不足が発生している。どう解消するのか。全市民の生活に直結するごみ袋の製造を海外に依存するリスクについて市の考えを問う。



市 既に指定ごみ袋の製造業者と調整を重ね、増産体制で供給量増加を確認するなど、早期の解消に向けて取り組んでいる。サプライチェーンの海外依存については、製造拠点がインドネシアと中国のほか、アジア各国に複数あることから、外的要因によるリスクにも備えられていると考えている。

議員 供給不足により一時的に色指定ごみ袋制度（透明袋であればよい指定ごみ袋制度）で対応する他市事例もあるがどうか。

市 破れにくい、愛着、地域環境に配慮した素材といったところも含めた指定ごみ袋制度であるため、一般の透明袋制度と比較した効果を鑑みても、引き続きしっかりと進めていきたいと考えている。

議員 指定ごみ袋制度導入による燃やすごみの削減目標は9%だが、10月・11月の燃やすごみの減少率は？

市 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、昨年度の同月と比べて10月は6.7%、11月は9.3%減っている。

◆その他の質問

・いじめ不登校の重大事態認定について ほか

いじめ問題に取り組む姿勢について

議員 不登校児童・生徒数199人の中にいじめを原因とする児童生徒はいないのか。



教委 昨年度の市立小中学校における不登校児童生徒の中に、いじめを原因とする児童生徒は1名いる。

新型コロナウイルスワクチン接種のリスク周知について

議員 「接種後の体調不良はありませんか？」という大きな声で捉えた問いを長期的に広報するべきでないか。

市 ワクチン接種のホームページに、接種には副反応があること、健康被害が発生したと感じられたときに救済制度があることを案内している。

また、ホームページをあまり見ない方については、接種の申し込みを電話で受け付けていたため、その電話の中で相談があった際に、案内をしてきている。

教育に向き合う市長の基本姿勢について



議員 独立した行政機関である教育委員会から政治家たる市長の下に社会教育を移管するのは、政治からの中立性確保として問題ではないか。

市 社会教育を実施する上で、政治的中立性の確保は重要であると考えている。これからも市民一人一人がスポーツや文化活動をはじめ、生涯にわたって学び続けることができる学習権を保障するとともに、市民が主役の芦屋づくりを進めることができる場や機会の提供に取り組む。

今回の教育委員の選任については、市長である私の力不足により、議員の皆さまの理解を頂くことができなかった結果を真摯に受け止め、これからは最高の学びができる芦屋を目指して、議員の皆さまとも対話を尽くし、新たな教育委員を選任していく。

教委 社会教育の移管後も手放して終わりという考え方は全く持っていないため、今後の連携の在り方を市長部局と一緒に考えていく。

◆その他の質問

・平和行政について
・予算編成のあり方について
・「3つめ」への対応について

危険な交差点について



議員 全国交通事故多発交差点マップに「芦屋高校前交差点」が事故件数全国8位の危険な交差点として挙げられた。今後の事故防止のための取り組みを問う。

市 国道43号の芦屋高校前交差点については、現時点では事故原因の特定が難しいものの、令和5年9月末に試験的に信号の表示時間を見直したため、今後の経過を見ていきたい旨を芦屋警察署に確認している。また、道路管理者である兵庫国道事務所には、状況に応じて注意喚起の看板の設置を検討すると確認している。

本市でも、芦屋警察署等とともに、定期的に事故防止に関する周知啓発を行っている。



打出交差点 (Googleストリートビューより引用)

議員 「打出交差点」も危険が多く阪神電気鉄道の立体交差化などの対策が必要と考えるが、その進捗を問う。

市 阪神電気鉄道の立体交差化は、交通渋滞の解消や通行の安全性確保のほか、周辺地域の課題解決や活性化などにも寄与する事業となるよう研究している。長期的な視点が必要ことから、事業者と整備の方向性や事業効果について、今後も継続的に情報や意見交換を行う。

◆**その他の質問**
・自治会のDX推進について

いじめへの対策について



議員 各学校のいじめ防止基本方針によって、個別的な取り組みが行われているのか。

教委 各学校におけるいじめ防止は、市のいじめ防止基本方針等を参酌し、各学校の実情に応じ、学校いじめ防止基本方針を定めて取り組んでいる。

議員 いじめ予防の授業を行ったほうがいいのではないかと。

教委 いじめの未然防止は、児童生徒が自ら考え、人権意識を持って行動できるように、各学校で教育活動全体を通じて取り組んでいる。

今の本市の実態に合った形で、他市の事例も参考にし、これまでのことも見直しながら考えていきたい。



吹田市のいじめ予防授業で使用されている小学校高学年用ワークブック

議員 AEDに女性の傷病者の胸部を覆える三角巾の備え付けをしている自治体が増えている。本市においての状況は？

市 女性に配慮した三角巾は、市の公共施設およびコンビニエンスストアに設置しているAEDに、使い方のリーフレットとセットで設置している。

◆**その他の質問**
・公共施設のAEDの三角巾の利用について

JR芦屋駅南地区再開発事業について



JR芦屋駅南地区完成イメージ図

議員 交通課題の解決が目的であり、東西道路を廃止して芝生広場を造成することに疑問を感じる。東西道路の存続の是非について市民に確認すべきでは？

市 現時点で市民の意見を問うことは考えていない。今後、交通シミュレーションの結果等も踏まえ、総合的に判断した結果については、議会に説明した後、適切な方法で市民に情報発信し、理解を得るよう努める。

議員 スケジュールの延期について、早急に市民への告知を求める。

市 都市再開発法に基づく事業計画等の変更が必要となるため、その手続を行った後、ホームページに掲載する予定である。

指定ごみ袋について

議員 ごみ袋の流通が止まった場合の運用を構築すべきでは？

市 代替運用は考えていない。安定供給に向けて製造業者や各店舗でも工夫をしてもらっているため、現行の運用への理解と協力をお願いする。

議員 小売店のレジ袋として指定ごみ袋の設置を求める。

市 環境全体から考えると、まずはマイバッグを使うという根幹がある。しかし、販売店側の経営戦略や、手間がかかるという課題をクリアすれば実現できることであるため、相談や働きかけは引き続き考えたい。

◆**その他の質問**
・芦屋川の水が枯れる事象について ほか

JR芦屋駅北側の「駅前通り」の駐停車禁止区域について



議員 足腰の弱いお年寄り、身体の不自由な方、妊婦の方、小さなお子様連れなど、JR芦屋駅をすぐに利用したい理由を抱えている方のために、当該の駐停車禁止区域において、社会福祉の観点から、タクシー等の必要な車両については、一部指定除外にするなど工夫することはできないのか。

市 JR芦屋駅北側の駅前通りは、違法駐車等があり非常に危険な状態が過去から続いていたため、交通事業者等からの要望もあり、兵庫県公安委員会が令和2年3月から駐停車禁止区域に指定している。この区域は物理的に停車スペースがないため、安全性の観点から、タクシーを一部指定除外にすることは難しいと芦屋警察署に確認している。

身体の不自由な方等からの声は聴いており、駅の北側のロータリーの中に駐車スペースを9台ほど設けている。そちらで降りてもらい、北側のエレベーターを使って、ペDESTリアンデッキから駅に行ける形となっている。

◆**その他の質問**
・原油価格・物価高騰等に対する市の考え方について
・国道43号線若宮歩道橋昇降施設整備その他工事について

公共施設の最適化構想とは



議員 市民ニーズを把握することが重要である。PFI事業による民間ノウハウの活用は考えないのか。

市 公共施設の最適化とは、社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえた上で、施設面積や維持管理コストの適正化を図ることを指している。これにより、施設が将来にわたり有効に活用されることを目指している。また、事業の実施に当たっては、他自治体の事例も参考にしながら、PFI等により、民間活力を積極的に活用し、費用の縮減等を図るようしている。

議員 教育委員会と市長部の連携が必要な教育施設が「まちづくりの観点」での有効活用が十分に考慮されていない。「涼風町5番の市保有地の新たな活用」で市民に交わした約束は？



市 これまでの経緯も踏まえ、地域の皆さまの声を伺うことの重要性は認識しており、今後、第5次総合計画や公共施設の最適化構想等の見直し、持続可能な未来の都市づくりビジョンの全容が見えてくることから、関係機関との調整の上、令和8年度初頭までに考えを示したい。

議員 市内に体育館が一つしかない状況で市民サービスは行き渡っているのか。

教委 体育館のアリーナは非常に人気が高く、コナ禍で、一日利用量は減ったものの、現在は増えている状況である。長い視点での利用見込みは人口に比例すると考えるが、たくさん運動してもらいたいという思いもあるため、見極めしていく。

単身高齢者への支援について



議員 単身高齢者が増えていく。将来への不安を少しでも解消するため、「終活情報登録伝達事業」に取り組んでいる自治体もある。本市も導入してはどうか。

市 終活支援事業は、終活に必要な知識が得られる講座を毎年開催している。終活情報登録伝達事業の導入は考えていないが、単身高齢者の権利擁護支援ニーズの高まりを認識しており、ほかの手段も含め、支援策について研究していく。



終活に悩むシニア

HPVワクチンの男性接種について

議員 国はHPVワクチンの接種を積極勧奨しているが、本市の接種率はどうか。また女性だけでなく、男性への接種を進めてはどうか。

市 HPVワクチンの接種状況は、積極的なワクチン個別勧奨を再開した令和4年4月から令和5年10月末日現在まで、1,065回である。

現在、国において、男性も定期予防接種と位置づけることは是非を検討し始めており、その動向を注視していく。

◆**その他の質問**
・災害時に避難支援が必要な方への対策について
・被災者を伴走支援する災害ケースマネジメントについて ほか

公園トイレの考え方について



議員 トイレの設置には基準があるとされるが、地域間に偏りがないような配置イメージを基にした設置を求める。

市 公園のトイレは、総合公園、地区公園、近隣公園に設置することを基本とし、街区公園での設置に関する細かな基準はない。トイレは人が夜にたむろする、ごみが増えるといった嫌悪施設でもあるので、新しく造るのは難しい。また、統合することも難しいため、配置の偏りがないようにするのは、なかなか難しいと考える。

また、トイレが老朽化した場合は、地元の方々と話をし、今後のことも含めて考えていきたい。

議員 公園の維持管理費用については公園内に自動販売機を設置し、その収入を充てるべきであり、防犯カメラやAEDの設置等も進め、清潔面だけでなく市民の安全安心も高められるような工夫を求める。

市 今のところは考えていないが、トイレに限らず、維持管理費用の支出ばかりになっているため、収入を得る方法については、本市に合うかどうかも含めて、研究していく必要があると考えている。

◆**その他の質問**
・市営住宅の必要数と数について
・庁舎窓口の開庁時間と職員勤務時間について ほか

▶ 審議結果一覧

議案番号	件名	結果	内容
条例の制定			
69	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく職務権限の特例に関する条例	可決	詳しくは4ページの「注目の議案」をご覧ください。
条例の一部改正			
70	事務分掌条例	可決	詳しくは4ページの「注目の議案」をご覧ください。
71	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例	可決	人事院勧告等を参考に、一般職の職員等の給料月額と期末手当・勤勉手当の支給率を改めるもの
72	フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例及びパートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例	可決	一般職の職員に準じて会計年度任用職員の給料等の月額および期末手当の支給率を改正するほか、法改正により、令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当が支給されることとなるため、所要の規定を定めるもの
73	福祉医療費の助成に関する条例	可決	詳しくは2ページの「注目の議案」をご覧ください。
74	障がい理由とする差別のない誰もが共に暮らせるまち条例	可決	事業者の役割に関する規定を整理するもの
75	風致地区内における建築等の規制に関する条例	可決	風致地区内において市長の許可を要する行為に係る関係規定を整理するもの
84	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	可決	一般職の職員に準じ、市議会議員の期末手当に係る支給率を改定するもの
85	国民健康保険条例	可決	出産した被保険者等に係る保険料を減額するもの
87	手数料条例	可決	新たに戸籍謄本等の広域交付等に係る手数料を定めるもの
令和5年度補正予算			
76	一般会計補正予算（第7号）	可決	戸籍住基等システム改修経費、福祉医療費助成事業に要する経費、丹波少年自然の家事務組合の解散に伴う負担金を追加するもの
86	一般会計補正予算（第8号）	可決	詳しくは3ページの「注目の議案」をご覧ください。
指定管理者の指定			
78	潮芦屋交流センターの指定管理者の指定	可決	「NPO法人芦屋市国際交流協会」を潮芦屋交流センターの指定管理者に指定するもの。指定期間は令和6年4月1日から5年間
79	地区集会所の指定管理者の指定	可決	「芦屋市地区集会所運営協議会連合会」を地区集会所の指定管理者に指定するもの。指定期間は令和6年4月1日から3年間
80	総合公園の指定管理者の指定	可決	「ミズノ・芦屋市スポーツ協会・理研グリーン共同体」を総合公園の指定管理者に指定するもの。指定期間は令和6年4月1日から5年間
81	自転車駐車場の指定管理者の指定	可決	「サイカーピング株式会社」を自転車駐車場の指定管理者に指定するもの。指定期間は令和6年4月1日から5年間
82	美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の指定管理者の指定	可決	「小学館集英社プロダクション共同体」を美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の指定管理者に指定するもの。指定期間は令和6年4月1日から5年間
その他			
67	教育委員会委員の任命	不同意	令和5年12月5日をもって任期が満了する委員の次期委員を選任するもの
68	人権擁護委員の候補者の推薦	同意	令和6年3月31日をもって任期が満了する委員の次期委員を推薦するもの
77	財産の取得について	可決	ノートパソコン700台を購入することについて、条件付き一般競争入札により、株式会社大塚商会神戸支店と9,702万円で契約するもの
83	阪神水道企業団を組織する地方公共団体の数の増加及び同企業団の規約の変更に関する協議について	可決	令和7年4月1日から阪神水道企業団に明石市が加入することに伴い同企業団の規約を変更することについて、関係市と協議するもの
陳情			
5	障害・高齢福祉サービス等報酬の改善にむけて、国宛意見書の提出を求める陳情書（民生文教常任委員会）	結論を得ず	物価高騰に対応できるよう、2024年度の障害・高齢福祉サービス等報酬の基本報酬を引き上げることなどを求めるもの
6	JR芦屋駅南開発で東西道路を遮断し広場を整備で派生する細道への右左折車の交通リスク回避策を求める陳情書（建設公営企業常任委員会）	結論を得ず	東西道路の遮断により、車が周辺の細い道に右左折する交通リスク回避策を案出するよう求めるもの

※1 緑色は「賛否の分かれた議案」を表しています。 ※2 陳情は委員会での審査結果です。

▶ 賛否の分かれた議案

●12月定例会で賛否の分かれた議案の採決の結果は次のとおりです。

議案番号	議員名	会派名																	議決結果							
		あしや政風会					日本共産党 芦屋市議会議員団			公明党		日本維新の会		至誠会		芦屋しみの未来		会派に属さない議員		結	賛	反	棄			
		岩	福	川	原	福	川	ひ	平	西	田	帰	浅	橋	大	西	中	寺	中	た	山	長	結	賛	反	棄
第67号議案	岩岡りょうすけ	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	棄	棄	棄	×	×	×	×	不同意	7	10	3
第69号議案	福井利道	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	15	5	0
第70号議案	川上あさえ	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	15	5	0	
第78号議案	原なつ子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決	17	3	0
第82号議案	福井美奈子	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決	16	4	0
第84号議案	川島あゆみ	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	可決	10	10	0	
第87号議案	ひろせ久美子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	可決	17	3	0

※「○」…賛成、「×」…反対、「棄」…棄権、「-」…議長（議長は表決に参加しません。）
 ※第84号議案については、議長裁決（可否同数の場合に議長が可否を決定すること）の結果、可決しています。

行政視察を行いました

芦屋市議会では、市政における課題の解決を図り、その発展のため、他市の先進事例を調査する行政視察を実施しています。詳しくは市議会ホームページの「視察報告」（右記QRコード参照）をご覧ください。



建設公営企業常任委員会 香川県高松市・愛媛県西条市

10月24日～25日

高松市では、「公共交通ネットワークについて」視察を行いました。人口減少の状況を踏まえ、公共交通ネットワークの再構築を検討し、長い路線のバスを郊外から中心部にかけて走らせるのは非効率であるため、細かく区切って無駄を発生させないという取り組みは、大変合理的であり、そのための新駅設置も非常に思い切った施策だと感じました。また、「バスとタクシーの中間のような乗り物」として、デマンド型交通の「バタクス」の運行も現在、実証実験中であり、高松市の先を行く施策は、非常に参考になりました。



高松市

西条市では、「インフラメンテナンスについて」視察を行いました。西条市が管理する市道橋梁は894橋あり、市職員が社会基盤メンテナンスエキスパートの資格を取得し、年間で約100橋を点検して5年間で市職員が点検を担当する橋梁を一巡します。メリットは委託のための予算がかからず、デメリットは市域が広いので、遠方の橋梁のときには時間がかかり、通常業務に支障が出る場合があるとのことですが、各自の技術職員としての自信にもつながり、数字では表せないメリットが生まれているように感じました。

民生文教常任委員会 愛知県瀬戸市・豊橋市

10月25日～26日

瀬戸市では、「子どもの権利条例について」視察を行いました。本条例の制定に至る経過の中で、さまざまな子どもの声や意見を尊重し条例に反映させていたことが印象的でした。また、この条例には、「子どもが守られるべき権利として、「安全に安心して生きる権利・自分らしく生きる権利・主体的に参加する権利・のびのびと豊かに育つ権利」が規定されているとともに、子どもの権利を保障するための支援や、市・保護者等の責務などが定められており、子どもたちが安心して育つ環境が整備されていました。



豊橋市まちなか図書館

豊橋市では、「まちなか図書館について」視察を行いました。まちなか図書館では、地域社会に対する新たなコミュニケーションの機会の提供、ICTの活用による施設運営の効率化、施設内のデザインやレイアウトの工夫による利用者同士の交流、テーマ別の本の配架など、参考にすべき事例が多々ありました。本市もまちなか図書館の事例を参考に、地域社会に新たな活力をもたらす図書館の実現に向けて協議できればと考えています。

総務常任委員会 千葉県市川市・神奈川県藤沢市

11月14日～15日

市川市では「デジタルトランスフォーメーションの推進について」視察を行いました。

庁舎1階のワンストップサービスでは、職員が職場からパソコンを持参して対応し、内線電話となる公用スマートフォンで関係課職員と連絡を取り、スムーズな手続を実現しています。また、フリーアドレス（固定席を持たない執務）による執務スペースの削減で市民が利用可能なスペースを生み出すなど、市民目線の業務運営が感じられました。



市川市

藤沢市では、「総合計画の廃止と新たな指針の作成について」視察を行いました。策定に多大なコストと時間がかかっていた総合計画に替え、期間を市長任期と同じ4年とする「市政運営の総合的な指針」を策定されています。社会情勢に即して重点化を図った方針により、市民にも分かりやすくなっています。総合計画を他の手段に替えることは、市政に大きく影響することでもあり、慎重な検討を要するものの、議論する価値はあると感じました。

議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第45回

◆問題 [出題者]中村亮介委員

昨年の総務常任委員会の行政視察は、11月14日～15日に行われました。次の中で、1つだけ視察先ではないまちがあります。さて、どのまちでしょうか。

- ①千葉県市川市 ②神奈川県藤沢市
- ③茨城県ひたちなか市

◆前回のクイズの答え ※前回の応募件数は64件

「この9月に令和4年度の決算審査が5日間にわたり行われましたが、一般会計の歳入歳出の差額から翌年度への繰越財源を除いた令和4年度の実質的な黒字額は約何億円だったでしょうか。」の正解は「約22.1億円」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。正解は5月発行予定のあしや市議会だより128号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



◆応募方法 今回より下記QRコードの専用フォームからも応募ができます!

「専用フォーム」、「電子メール」、「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見や感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第45回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善の参考にさせていただきます。

◆応募締め切り

令和6年(2024年) 2月26日(月)まで

※当日消印有効

◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス: gjjityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報は賞品の発送以外には使用しません。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



QRコード↑
(専用フォーム)

NEWS

議員研修会(市内施設見学)を行いました

昨年11月22日に、市内にある環境処理センター・芦屋下水処理場・奥山浄水場の見学に行きました。環境処理センターでは、本市におけるごみ処理の現状、10月からスタートした指定ごみ袋制度、ごみの減量化についての説明があり、その後、焼却施設や資源化施設などを見学しました。今後一人一人がごみの減量化や分別の促進に取り組んでいかなければならないと改めて実感したところです。

芦屋下水処理場では、市内に2カ所ある処理場の役割と仕組みなどの説明があり、その後、実際に汚水が浄化されるまでの流れを見ることができました。

奥山浄水場では、市内の水は奥池浄水場・奥山浄水場・阪神水道の3つの系統から供給されていることや、水源別の給水区域、土砂災害対策工事の現況についての説明がありました。

私たちの生活にとって欠かすことのできない各施設を今後も適正に維持管理していく上で、さまざまな課題があることを改めて認識することができました。



環境処理センター

3月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
2/12	13	14	15	16	17	18
			議会運営委員会	本会議(施政方針説明)		
19	20	21	22	23	24	25
建設公営企業常任委員会	民生文教常任委員会	総務常任委員会	委員会(予備日)			
26	27	28	29	3/1	2	3
		議会運営委員会	本会議(総括質問等)	本会議(総括質問等)・予算特別委員会		
4	5	6	7	8	9	10
建設公営企業常任委員会・予算分科会	民生文教常任委員会・予算分科会	総務常任委員会・予算分科会	委員会・予算分科会(予備日)	委員会・予算分科会(予備日)		
11	12	13	14	15	16	17
委員会・分科会(予備日)						
18	19	20	21	22	23	24
予算特別委員会			議会運営委員会	本会議(採決)		

●本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

昨年は議会が新体制となり、史上最年少市長も誕生し、芦屋市に大きな注目が集まりました。3月議会では令和6年度の予算を決定するための大事な審議があります。市民の皆さまの代表として、市民生活の向上のため、真剣に取り組んでまいります。今年も芦屋市議会、市議会だよりにご注目ください。

[編集委員] 西村 まさと